

## 防雪・建設コーナー(ここでは防雪についてのみ紹介します)

毎年、冬になると新潟県をはじめ日本海側地方と北海道は雪に覆われてしまいます。

公共交通機関である鉄道の運行を維持するためにさまざまな防雪・除雪対策が取られています。



### 防雪設備

#### 防雪林

吹雪対策として線路脇に杉・松などを一定の幅に植林したもので、新津付近では羽越本線の京ヶ瀬-水原間で見ることができます。

#### 防雪柵

雪崩対策として線路脇の山側斜面や分岐器の風上側に設置される柵のことです。

#### 雪崩止め排壁

雪崩対策として線路の山側に設置される壁のことです。

#### 雪覆い

線路に雪が入ることを防ぐために設置されるトンネル状の覆いのことです。防雪柵・雪崩止め排壁・雪覆いは磐越西線で見ることができます。

### 除雪設備

#### 流雪溝

主に駅構内に設置され、溝の中は水が流れています。除雪作業の際は、ここに捨てられた雪を溶かします。

#### スプリンクラー

温水を利用して線路特に分岐器の凍結防止と融雪のために設置されています。上越新幹線は新潟県部分(トンネル以外)全線に温水を再処理し循環するシステムを開発することにより積雪地帯での無雪を実現しています。また、分岐器の凍結防止と融雪には温水や電気熱を利用した方式もあります。

### 新津付近で活躍する除雪用車両



DD15ラッセル式ディーゼル機関車 DE15ラッセル式ディーゼル機関車